

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔感染管理部門〕

指標名

MRSA 新規院内発生率

目標・ゴール

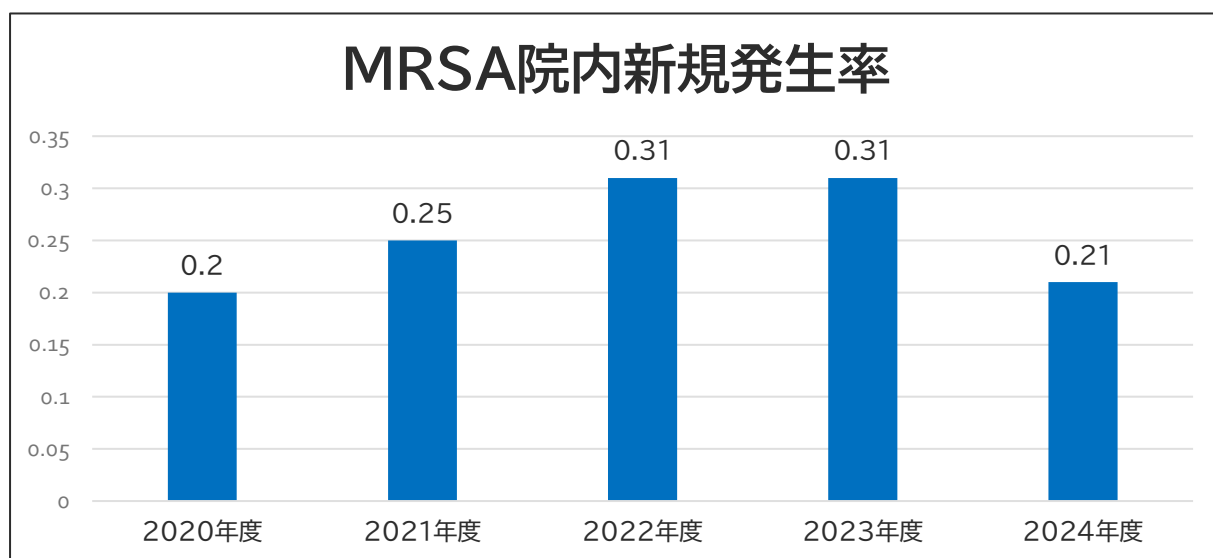
薬剤耐性菌対策強化による MRSA 新規院内発生率の低減

目標・ゴール達成による効果

＜目標＞新規院内発生時の予防策遵守、複数発生時に部署との連携・介入と予防策強化で、感染拡大を制御する。

＜効果＞医療関連感染を防止することで、感染症による重症化のリスク低減、入院費の抑制、入院期間の延長が抑制できる。

目標・ゴールに対する成果の状況



当院の定義・算出方法

$$\frac{\text{分子：MRSA発生率（持ち込み症例は除く）}}{\text{分母：在院総患者数}} \times 1000 (\%)$$

※入院後、48 時間以降に採取された検体から MRSA が検出されたもの（分子）

※「‰（パーミル）」千分率で表しています

※該当項目に☑をつけてください

☐S :大幅に目標を上回った

☐A⁺:目標を多少上回って達成

☒A :目標を達成

☐B⁺:目標を少し下回った

☐B :目標を下回った

☐C :目標を大幅に下回った

☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

急性期治療後や繰り返す入退院での抗菌薬の治療歴などの背景より、薬剤耐性菌の発生リスクがあるため、継続して薬剤耐性菌の発生・拡大防止への取り組みを行っていく必要がある。